

令和4年度 第4回 政策調整会議 会議録②

◆開催日時：令和4年10月24日（月） 9：45～10：05

◆開催場所：第2委員会室

◆出席委員：堤副市長、戎井副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、
寺本財務部長、松下まちづくり推進部長

◆説明者：貝口企画課長、中井政策担当長、前田主任、上田担当員
山田都市計画課長、藤井都市計画担当参事

◆審議事項

将来ビジョン・岸和田 基本構想案、基本計画案及び都市計画マスタープラン案について

・・・企画課・都市計画課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉行政計画は実行力が重要であるため、計画の実現に向け、各部局での具体的な動き、予算編成、組織体制等すべてにわたり推進できるようにすること。厳しい財政状況下でも工夫し、やる気と責任を持って取り組むこと。特に都市計画マスタープランは、都市構造の変革のためのプランであり、海から山までつながる新しい岸和田づくりということで、輝く未来、これからの100年のスタートとなるような計画になっている。インフラ整備は非常に時間がかかるので、事業部局は一刻も早く着手する姿勢を持ち、国が積極的に経済対策を進めているこの期に重点的に進めること。

〈戎井副市長〉今後、市を挙げてゼロカーボンを進めていくために、総合計画や都市計画マスタープランにも位置付けた。10月19日に実施した市ゼロカーボン推進会議の幹事会で、大阪府ゼロカーボンファウンデーションの代表理事から、脱炭素をめざすのであれば、脱炭素を地域課題として捉え、まちづくりとして進める必要があるという話があった。都市計画マスタープランにも23ページ以降に、カーボンニュートラルについてうたっており、現段階では、特に公共施設の整備・更新に関して記載されているが、それに限らず、まちづくり全体として進めていく必要がある。今後、幹事会等で積み上げ作業をしていくので、その中で新しい施策を考えてもらいたい。

〈都市計画担当参事〉環境部局と連携しながら進めていきたい。

〈戎井副市長〉国から先進事例として認定されることで、手厚い補助金が交付される制度があるが、まちづくりのストーリーとして進めていかないと認定されづらいという面もある。そういったことも考慮して進めてほしい。基本計画の82～83ページにおいて、個別目標の方向性として、ごみの減量が先にあり、脱炭素が後に記載されている。脱炭素のほうが政策的に大きなカテゴリであり、先に記載すべきように思うが、この順序になっているのはどのような考えからか。

〈政策担当長〉個別目標を達成するための大きな方向性を並列にしている。ここでは、「環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている」という個別目標に対し、ごみの減量化という視点と省エネルギー化や再生可能エネルギーを並列にしている。ただし、脱炭素の取組は重要であるため、重点目標3「都市課題を解決する仕組みづくりの実現」において、重点目標の方向性として示している。

〈戎井副市長〉この順序は政策的な重要性ということではなく、あくまで時系列という認識でよいのか。

〈政策担当長〉よい。第4次総合計画の時の大きな枠組みの順序を継承している。

〈教 育 長〉重点目標の中に、子育てや教育の重要性を位置付けていただいたこと、ダウンサイジングの考え方を取り入れていただいたことはありがたい。ダウンサイジングや行財政改革の取組は、将来の市民の生活を豊かにするためであるので、職員は知恵を絞り、どうすればできるかを考え、行政だけではできないことは民間の力を借りながら進めてもらいたい。

〈総 務 部 長〉都市計画マスタープランの 25 ページの上水道の記載において、「『岸和田市水道事業ビジョン』を推進」とあるが、今後上水道が企業団への移行を予定している中で、しっかり担保できているのか。

〈都市計画担当参事〉企業団に移行しても、その一員として、市はこの考え方をもって一緒に進めていくことになっている。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいのか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和4年 10 月 21 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	将来ビジョン・岸和田 基本構想案、基本計画案及び都市計画マスタープラン案について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、 簡潔に記載すること。)	令和5年度スタートの将来ビジョン・岸和田 基本構想案について、令和4年第4回定例会に上程してよろしいか。また、基本計画案についても策定してよろしいか。 また、都市計画マスタープラン案については、都市計画審議会にて意見聴取を行うとともに、パブリックコメントの実施について付議するものです。
説明者	貝口 企画課長、中井 政策担当長、前田 主任、上田 担当員 山田 都市計画課長、藤井 都市計画担当特命参事
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和4年度 第4回会議
付議事項	将来ビジョン・岸和田 基本構想案、基本計画案及び都市計画マスタープラン案について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	将来ビジョン・岸和田は、市制施行100周年を経て、次の”新しい岸和田づくり”をめざし、安心していつまでも住み続けることができる、個性豊かで魅力的なまちであるために、「笑顔にあふれ、誰もが”幸せ”を感じる都市」の実現を基本理念とします。市民や行政など様々な人が互いに協力しあい、総合計画に描いた将来像に向かってまちづくりを進めていきます。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

第4次総合計画では、21世紀型の新しい仕組みづくりとして、市民参加、地域経営の視点から、岸和田市自治基本条例の理念を具体化する役割を担う「市民みんなの総合計画」として位置付け、積極的な市民参加による総合計画の策定を実施してきた。将来ビジョン・岸和田では、都市経営の向上をめざし、市民参加による策定過程を重視した計画づくりするとともに、まちづくり主体者の新たな連携の創出や多様な資源の活用など、少子、高齢社会における持続可能な地域づくりのための「みんなの総合計画」として策定を進めてきた。今回、基本構想案については、令和4年第4回定例会に議案とする予定である。 また、都市計画マスタープラン案については、都市計画審議会にて意見聴取を行うとともに、パブリックコメントを実施し、令和5年1月の都市計画審議会にて諮問を行う予定である。
--

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
とことん懇話会の開催、基礎調査、アンケート調査、団体ヒアリング等の運営補助委託費【～令和3年3月末】		12,815	12,815						
とことん懇話会の開催、庁内検討会議及び総合計画審議会運営、地区説明会の開催等運営補助及び計画書の作成委託費【令和3年4月～令和5年1月末】			10,538	9,999					
次期総合計画印刷、配布、広報【令和5年1月～令和5年3月末】				2,833					
総合計画の進行管理		16	16	16	16	16	16	16	16
都市計画マスタープラン基礎資料及び策定支援委託費		1,920	2,260	1,400					
都市計画マスタープラン印刷、広報【令和5年3月～4月頃】				850					
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源	14,751	25,629	15,098	16	16	16	16	16
	その他								
事業費			計		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
			80		16	16	16	16	16

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
有	(無)					

★取組の効果を表す指標

指標名		単位	目標値							
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
①	市民の声が市政に反映されていると感じている市民の割合	%	10	7.6						
②	市役所は目標の達成に向け、計画的に施策を推進していると感じている市民の割合	%	14.4	11.7						

※事業費及び人員を確約するものではない。